

# 収れん火災を防ごう！！

令和2年1月、町田消防署管内において、拡大鏡を原因とする収れん火災がありました。収れんとは、太陽の光が虫眼鏡や拡大鏡によって反射または屈折して、太陽の光が一点に集中することをいい、光が集中した場所に可燃物があると火災に至る場合があります。

太陽の高度が低くなり、部屋の奥まで太陽の光が差し込む冬場や日差しが強くなる時季に多く発生する傾向がありますが、条件がそろえばどこでも発生することから注意を呼びかけています。

収れん火災を防ぐためにこれまで原因となったものや、収れん火災を防ぐためのポイントをお知らせします。

## 【収れん火災の原因となったもの】

- 拡大鏡
- 水が入ったペットボトル
- 調理用のステンレス製ボウル
- 透明の水槽 など



## 【収れん火災を防ぐポイントは??】

- 光を反射または屈折する可能性があるものを直接、太陽の光が当たる場所に置かないようにしたり、使用しないときは布などを被せましょう。
- 外出時は遮光カーテンや障子戸を閉めて室内に太陽の光が差し込まないようにしましょう。